

鳥海まちづくり協議会

提言書

平成29年7月

鳥海まちづくり協議会委員

(任期：平成27年8月1日～平成29年7月31日)

- 会 長 佐 藤 弘 志 (元由利本荘市議会議員)
- 副会長 土 田 房 義 (元鳥海町議会議員)
- 委 員 加 藤 光 一 (川内地区町内会推薦)
- 真 坂 知恵美 (川内地区町内会推薦)
- 真 坂 好 喜 (直根地区町内会推薦)
- 吉 田 優 (直根地区町内会推薦)
- 高 橋 莊 一 (笹子地区町内会推薦)
- 村 上 喜一郎 (笹子地区町内会推薦)
- 高 橋 久 孝 (野菜マーケット友の会会長)
- 鈴 木 トシ子 (鳥海連合婦人会会長)
- 佐 藤 安 隆 (由利本荘市観光協会鳥海支部支部長)
- 真 坂 ひろ子 (由利本荘市商工会鳥海支所女性部副支部長)
- 佐 藤 大 志 (鳥海地区連合PTA会長)
- 佐 藤 京 子 (鳥海地区民生児童委員協議会委員)
- 佐 藤 崇 (本海獅子舞番楽伝承者協議会)
- 富 澤 博 光 (鳥海町物産協会会長)
- 小 松 茂 樹 (元由利本荘市職員)
- 村 上 孝 一 (公募委員)
- 佐 藤 吉 則 (公募委員)
- 真 坂 悦 子 (公募委員)

はじめに

鳥海まちづくり協議会委員一同は、由利本荘市まちづくり協議会条例による「市民と行政の協働によるまちづくりを推進し、地域の課題解決及び活性化を図る」という設置目的のもと、平成27年8月1日付けで委嘱され、鳥海地域の政策的課題や要望について、「明日へつなぐ部会」、「元気いっぱいふるさとづくり部会」を開催し、それぞれ分野別のテーマを設定し協議・検討を重ねてきました。

この度、各専門部会にて協議された内容を提言書として取りまとめましたので、関係部局で検討いただき、市政運営にご反映いただきますようお願い申し上げます。

【部会構成委員】

・明日へつなぐ部会

(部会長) 高橋 荘一 (副部会長) 佐藤 安隆

(委員) 加藤 光一、眞坂 好喜、吉田 優、高橋 久孝、眞坂 ひろ子

佐藤 崇、冨澤 博光、佐藤 弘志、村上 孝一

・元気いっぱいふるさとづくり部会

(部会長) 佐藤 吉則 (副部会長) 眞坂 悦子

(委員) 眞坂 知恵美、村上 喜一郎、鈴木 トシ子、佐藤 大志

佐藤 京子、小松 茂樹、土田 房義

※その他、まちづくり協議会の運営に関して協議する「企画運営部会」も設置しており、協議会会長、副会長及び各部会の部会長、副部会長で構成されております。

活動報告

(任期：平成27年8月1日～平成29年7月31日)

開催日	市要請による 開催	自主開催	協議内容
H27. 8.19	協議会①		市総合計画、鳥海地域主要事業の説明 協議会活動の進め方について
H27. 9.18		企画運営部会①	部会を含めた今後の進め方について 取り組むべきテーマについて
H27.11.13		協議会②	部会の構成について 部会協議
H27.12. 2		明日へつなぐ部 会①	部会の名称について 部会で取り組むべきテーマについて
H27.12.10		元気いっぱいふ るさとづくり部 会①	テーマに関する協議について
H27.12.22		協議会③	(新)由利本荘市ごみ処理施設整備スケ ジュールについて 本荘由利広域清掃センター埋立処分地 延命化計画について ※上記は行政協力員との合同会議 各部会協議報告
H28. 3.14		明日へつなぐ部 会② 元気いっぱいふ るさとづくり部 会②	各テーマに関する前回からの継続協議 ＜明日へつなぐ部会＞ (観光) (産業) (集落の集約化) ＜元気いっぱいふるさとづくり部会＞ (学力向上) (伝統芸能伝承) (都市と の交流) (地域医療) (除雪・克雪)
H28. 3.23	協議会④		28年度事業計画等について 公共施設等総合管理計画について
H28. 8. 4		元気いっぱいふ るさとづくり部 会③	「笹子地域づくり実行委員会」との連 携事業「笹子月山神社・八朔まつり学 習会」について
H28. 8.31		元気いっぱいふ るさとづくり部 会④	「笹子地域づくり実行委員会」との連 携事業「笹子月山神社・八朔まつり学 習会」開催

H28. 9. 8		明日へつなぐ部 会③	現地視察会 (鳥海地域のアスパラ栽培農家を視 察・意見交換)
H28.11.15	協議会⑤		公共施設等総合管理計画について 各部会からの活動報告
H29. 1.26		企画運営部会②	提言書作成に向けた協議会の運営につ いて
H29. 2.22		元気いっぱいふ るさとづくり部 会⑤	提言書作成に向けたテーマの選定等に ついて (地域医療) (除雪・克雪)
H29. 2.23		明日へつなぐ部 会④	提言書作成に向けたテーマの選定等に ついて (観光) (農業) (コミュニティバス)
H29. 3.15	協議会⑥		29年度事業計画等について 各部会より提言書のテーマと今後の予 定について報告
H29. 4.26		元気いっぱいふ るさとづくり部 会⑥	提言書の内容について
H29. 4.27		明日へつなぐ部 会⑤	提言書の内容について
H29. 6.27		元気いっぱいふ るさとづくり部 会⑦	提言書の内容について
H29. 7.10		企画運営部会③	提言書の内容について
H29. 7.21		協議会⑦	各部会より提言書の内容について報告



【笹子月山神社・八朔祭り学習会の様子】



【鳥海地域農家の現地視察会の様子】

鳥海まちづくり協議会「明日へつなぐ部会」

提言書

明日へつなぐ部会では、鳥海地域が魅力あふれる地域として持続していくにはどうすればいいか協議を重ね、その後「まいーれを活かした地域の取り組みについて」「新規就農者確保のための農業ビジョンについて」「高齢化社会に対応できるコミュニティバスの運営について」の3つのテーマに絞り協議した。

市への提言事項

1. 「まいーれを活かした地域の取り組みについて」

今年4月に開館した「まいーれ」と同じエリアには「そば処ももや」、「産地直売所 菜らんど」が併設されており、この3つの施設が連携したPR活動や誘客を図るべきである。

併せて、「観る」「食べる」「買う」が同じ敷地内で行えることから、ツアーを造成する上でも非常に有効である。これを活かし由利高原鉄道(株)をはじめ、旅行業を取り扱う事業所への働きかけも重要であると考えます。

また、伝統芸能に詳しくない方にも身近に感じてもらうために、こまめなメディア露出を増やすべきである。イベントのチラシを載せるだけでは伝わらない民俗芸能の臨場感や緊張感を知ってもらうためにも、舞台裏の準備や練習などをフェイスブックなどのSNSを活用することで、積極的な周知を図るべきである。

2. 「新規就農者確保のための農業ビジョンについて」

鳥海地域は、地域ブランドとして確立した「鳥海りんどう」をはじめ、アスパラガスの栽培に最適な土地柄である。それを活用できるような仕組みを構築することや、若者や就農に興味のある方などに対する事業説明などを充実していくべきである。

また、現行で存在する補助制度の認知度が低く、「就農」が検討される土台にすらあがらない状況も打開する必要があるのではないかと考えます。

その為には、長期的な手厚い支援による収入の増加を促進し、収入面でも魅力のある職業として県内外を問わず広く周知を図るべきである。

3. 「高齢化社会に対応できるコミュニティバスの運営について」

鳥海地域で運営されているコミバスの範囲を考えると、まだ空白地帯と言われるような箇所が点在する。

今後、ますます進む高齢化に向けて、そのような箇所における各世帯の状況を一つ一つ洗い出し、潜在的な交通弱者が多い地域には、先行してバスの導入を行うことも検討していくべきである。

鳥海まちづくり協議会「元気いっぱいふるさとづくり部会」

提言書

元気いっぱいふるさとづくり部会では、鳥海の地域住民が元気に暮らせる地域づくりについて協議を重ね、その後「地域医療について」「除雪（克雪）について」の2つのテーマに絞り協議した。

市への提言事項

1. 「地域医療について」

近年、多額の繰入金を投入して運営されている診療所だが、鳥海地域の高齢化や通院時の公共交通機関の利便性を考えると、鳥海地域の3診療所（鳥海・直根・笹子）をなくすことはできない状況であり、へき地医療の維持の為に3診療所を末永く存続させることを希望する。

しかしながら、高齢化や人口減少による利用者減の現状を踏まえ、受診者の移動手段の確保を前提とし、3診療所を集約させ充実した医療施設としていくことなど、将来を見据えた地域医療のあり方について協議を進めていくべきである。

2. 「除雪（克雪）について」

鳥海地域の「豪雪」は、他地域でいう豪雪と比較しても積雪量に大きな差がある。

平成29年3月に策定された「由利本荘市総合的克雪・利雪・親雪計画」でも、豪雪地帯では除雪に関する費用が高額になるとのアンケート結果が記載されており、そのなかでも鳥海地域は負担が大きいと考えられる。

特に独居老人世帯や高齢者世帯に対する支援は必要不可欠であり、現在実施されている軽度生活援助事業（除雪作業）の継続はもちろん、家屋の周りや屋根の雪下ろしの有償除雪に対し人力・機械除雪を問わず、その一部の経費を助成し、豪雪地帯の負担軽減を図るなど、地域住民が安心して冬期間を過ごすよう、行政で支援すべきである。